

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社QLSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7075 URL <https://www.qlshd.co.jp/>  
 代表者 (役職) 代表取締役社長 (氏名) 雨田 武史  
 問合せ先責任者 (役職) 取締役CFO管理本部長 (氏名) 豊田 尚孝 (TEL) 06(6575)9845  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月30日 配当支払開始予定日 —  
 発行情報提出予定日 2023年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,923	22.8	339	69.4	340	143.7	229	—
2022年3月期	5,638	26.2	200	10.6	139	149.8	13	—

(注) 包括利益 2023年3月期 229百万円(—) 2022年3月期 13百万円(—)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	113.85	—	35.1	8.0	4.9
2022年3月期	6.67	—	2.5	3.1	3.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	3,768	768	20.4	381.61
2022年3月期	4,718	539	11.4	267.70

(参考) 自己資本 2023年3月期 768百万円 2022年3月期 539百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,563	△183	△1,245	1,115
2022年3月期	1,123	△1,697	597	982

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

※2024年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,649	10.5	346	2.1	327	△4.0	240	4.9	119.5

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	2,014,560株	2022年3月期	2,014,560株
② 期末自己株式数	2023年3月期	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	2,014,560株	2022年3月期	2,014,560株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や入国制限の緩和により、経済活動の正常化に向けた動きが見られた一方、ロシア・ウクライナ情勢に起因する経済への影響、資源価格高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、保育事業においては南小岩保育園、平井保育園、菊川保育園、東中野保育園、谷六保育園、板橋本町保育園、月島保育園の7施設の運営が始まったことにより、売上高は4,804,327千円（前年同期比23.3%増）となり、セグメント利益は845,131千円（前年同期比12.4%増）となりました。

介護福祉事業においては、児童発達支援を行うクオリスキッズぷらす、訪問看護事業を行う訪問看護うめちゃんの運営が始まり、既存の居宅介護支援や訪問介護、放課後等デイサービスが堅調に推移したことにより、売上高は996,817千円（前年同期比18.1%増）となり、セグメント利益は39,189千円（前年同期は19,906千円の損失）となりました。

人材派遣事業においては、主力である自動車メーカーへの派遣業務が新型コロナウイルスの影響による低迷から抜け出し、売上高は825,788千円（前年同期比22.3%増）となり、セグメント利益は37,245千円（前年同期は18,197千円の損失）となりました。

その他事業においては、業務受託による通信機器の販売が好調であったものの、売上に伴う業務委託費の増加により、売上高は296,308千円（前年同期比33.9%増）、セグメント利益は16,253千円（前年同期比4.3%増）となりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は6,923,241千円（前年同期比22.8%増）、営業利益は339,279千円（前年同期比69.4%増）、経常利益は340,705千円（前年同期比143.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は229,353千円（前年同期は13,445千円の利益）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ949,346千円減少し、3,768,706千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ849,370千円減少し、2,175,963千円となりました。これは主に、未収入金の減少1,174,777千円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ99,975千円減少し、1,592,742千円となりました。これは主に、繰延消費税額等の減少53,763千円によるものであります。

##### (負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,178,834千円減少し、2,999,920千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,291,479千円減少し、1,439,189千円となりました。これは主に、短期借入金の減少1,434,695千円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ112,645千円増加し、1,560,730千円となりました。これは主に、認可保育所等の新規開設に伴う設備投資のため、長期借入金が202,529千円増加したことによるものであります。

##### (純資産の部)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ229,488千円増加し、768,786千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益229,353千円を計上したことに伴う利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ133,660千円増加し、1,115,763千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ439,954千円収入が増加し、1,563,304千円の収入となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益344,211千円、未収入金の減少額103,983千円、整備補助金の受取額1,258,202千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額217,422千円、法人税等の支払額74,079千円で

あります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ1,513,646千円支出が減少し、183,946千円の支出となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出202,403千円、定期預金の預入による支出4,802千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ1,842,882千円収入が減少し、1,245,697千円の支出となりました。収入の内訳は、短期借入れによる収入476,000千円、長期借入れによる収入1,071,000千円であり、支出の内訳は、短期借入金の返済による支出1,910,695千円、長期借入金の返済による支出792,002千円、社債の償還による支出90,000千円であります。

#### (4) 今後の見通し

内外経済は、ロシア・ウクライナ情勢に伴う資源価格高騰、世界的なインフレの進行と、先行き不透明な状況が続いており

ます。

このような環境の中、翌連結会計年度（2024年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高7,649,528千円（前年同期比10.5%増）、営業利益346,363千円（前年同期比2.1%増）、経常利益327,137千円（前年同期比4.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益240,664千円（前年同期比4.9%増）を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,123,429	1,226,491
受取手形	318	671
売掛金	635,467	852,536
貯蔵品	1,170	1,170
未収入金	1,179,493	4,716
その他	85,455	90,377
流動資産合計	3,025,334	2,175,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	746,344	763,147
減価償却累計額	△271,228	△305,073
建物及び構築物(純額)	475,116	458,074
車両運搬具	6,319	7,404
減価償却累計額	△4,367	△5,793
車両運搬具(純額)	1,952	1,611
工具、器具及び備品	15,113	18,456
減価償却累計額	△8,580	△12,123
工具、器具及び備品(純額)	6,532	6,332
建設仮勘定	7,810	—
土地	464,383	464,383
有形固定資産合計	955,795	930,402
無形固定資産		
のれん	15,380	9,859
ソフトウェア	4,439	4,663
その他	254	254
無形固定資産合計	20,074	14,777
投資その他の資産		
繰延税金資産	253,777	229,916
繰延消費税額等	250,535	196,772
その他	212,535	220,873
投資その他の資産合計	716,848	647,563
固定資産合計	1,692,717	1,592,742
資産合計	4,718,052	3,768,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,977	23,007
短期借入金	1,434,695	—
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	486,421	562,890
未払金	312,925	384,380
未払法人税等	26,809	43,693
賞与引当金	158,326	173,295
その他	202,514	161,923
流動負債合計	2,730,669	1,439,189
固定負債		
社債	150,000	60,000
長期借入金	1,236,022	1,438,551
退職給付に係る負債	18,113	21,867
その他	43,950	40,312
固定負債合計	1,448,085	1,560,730
負債合計	4,178,754	2,999,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	234,066	234,066
利益剰余金	275,231	504,584
株主資本合計	539,297	768,651
新株予約権	—	134
純資産合計	539,297	768,786
負債純資産合計	4,718,052	3,768,706

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,638,130	6,923,241
売上原価	4,747,699	5,782,594
売上総利益	890,430	1,140,647
販売費及び一般管理費	690,089	801,367
営業利益	200,341	339,279
営業外収益		
受取利息	1,164	57
受取配当金	14	11
補助金収入	118,610	46,084
解約返戻金	18,479	—
その他	13,480	6,547
営業外収益合計	151,747	52,700
営業外費用		
支払利息	27,542	24,693
支払手数料	18,475	1,384
開園前費用	160,741	25,197
その他	5,500	—
営業外費用合計	212,259	51,274
経常利益	139,829	340,705
特別利益		
整備補助金収入	1,065,095	193,106
固定資産売却益	108	—
特別利益合計	1,065,203	193,106
特別損失		
固定資産圧縮損	1,055,401	189,476
固定資産除却損	—	124
減損損失	103,332	—
特別損失合計	1,158,734	189,600
税金等調整前当期純利益	46,299	344,211
法人税、住民税及び事業税	97,107	90,997
法人税等調整額	△64,253	23,860
法人税等合計	32,853	114,858
当期純利益	13,445	229,353
親会社株主に帰属する当期純利益	13,445	229,353



連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
	当期純利益	13,445
包括利益	13,445	229,353
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,445	229,353
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	30,000	234,066	261,785	525,852	525,852
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			13,445	13,445	13,445
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				—	—
当期変動額合計	—	—	13,445	13,445	13,445
当期末残高	30,000	234,066	275,231	539,297	539,297

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	30,000	234,066	275,231	539,297	—	539,297
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純利益			229,353	229,353		229,353
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				—	134	134
当期変動額合計	—	—	229,353	229,353	134	229,488
当期末残高	30,000	234,066	504,584	768,651	134	768,786

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	46,299	344,211
減価償却費	44,803	41,459
のれん償却額	7,940	5,520
固定資産圧縮損	1,055,401	189,476
固定資産除却損	—	124
賞与引当金の増減額 (△は減少)	154,107	14,968
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,437	3,753
整備補助金収入	△1,065,095	△193,106
解約返戻金	△18,479	—
減損損失	103,332	—
固定資産売却益	△108	—
受取利息及び受取配当金	△1,178	△68
支払利息	27,542	24,693
売上債権の増減額 (△は増加)	△68,572	△217,422
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,462	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,231	4,030
未収入金の増減額 (△は増加)	21,555	103,983
未払金の増減額 (△は減少)	145,208	70,255
その他	△16,743	6,238
小計	456,146	398,118
利息及び配当金の受取額	998	58
利息の支払額	△27,542	△24,693
法人税等の支払額	△196,116	△74,079
法人税等の還付額	3	—
整備補助金の受取額	873,861	1,258,202
解約返戻金の受取額	16,000	5,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123,350	1,563,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,202	△4,802
定期預金の払戻による収入	10,601	35,401
有形固定資産の取得による支出	△1,635,971	△202,403
その他	△66,019	△12,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,697,592	△183,946

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,486,696	476,000
短期借入金の返済による支出	△1,167,485	△1,910,695
長期借入れによる収入	851,000	1,071,000
長期借入金の返済による支出	△483,026	△792,002
社債の償還による支出	△90,000	△90,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	597,185	△1,245,697
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,943	133,660
現金及び現金同等物の期首残高	959,159	982,102
現金及び現金同等物の期末残高	982,102	1,115,763

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

なお、これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別の事業部を置き、事業部ごとに扱うサービスについて事業活動を行っております。当社グループは、事業部を基礎としたセグメントから構成されており、「保育事業」、「介護福祉事業」及び「人材派遣事業」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	保育事業	介護福祉 事業	人材派遣 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	3,897,362	844,091	675,327	5,416,781	221,348	5,638,130	—	5,638,130
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,897,362	844,091	675,327	5,416,781	221,348	5,638,130	—	5,638,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	6,300	6,300	—	6,300	△6,300	—
計	3,897,362	844,091	681,627	5,423,082	221,348	5,644,430	△6,300	5,638,130
セグメント利益又は損失 (△)	751,641	△19,906	△18,197	713,536	15,578	729,115	△528,773	200,341
セグメント資産	3,303,841	227,062	157,120	3,688,023	53,282	3,741,306	976,746	4,718,052
その他の項目								
減価償却費	40,535	3,213	149	43,898	—	43,898	905	44,803
のれんの償却額	—	7,146	—	7,146	794	7,940	—	7,940
減損損失	96,274	7,058	—	103,332	—	103,332	—	103,332
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	251,053	5,714	—	256,767	—	256,767	289	257,057

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル事業及びトレーニングジム事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△528,773千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△528,773千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額976,746千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産976,746千円であり、全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	保育事業	介護福祉 事業	人材派遣 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,804,327	996,817	825,788	6,626,933	296,308	6,923,241	—	6,923,241
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,804,327	996,817	825,788	6,626,933	296,308	6,923,241	—	6,923,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,593	3,593	—	3,593	△3,593	—
計	4,804,327	996,817	829,382	6,630,527	296,308	6,926,835	△3,593	6,923,241
セグメント利益	845,131	39,189	37,245	921,566	16,253	937,819	△598,540	339,279
セグメント資産	2,258,794	287,311	166,550	2,712,656	61,006	2,773,662	995,044	3,768,706
その他の項目								
減価償却費	37,307	2,998	478	40,785	—	40,785	673	41,459
のれんの償却額	—	4,726	—	4,726	794	5,520	—	5,520
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,693	545	439	13,678	744	14,422	—	14,422

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△598,540千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△598,540千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額995,044千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産995,044千円であり  
ます。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	267円70銭	381円61銭
1株当たり当期純利益	6円67銭	113円85銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式の売買実績が無く期中平均株価が把握できないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	13,445	229,353
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	13,445	229,353
普通株式の期中平均株式数(株)	2,014,560	2,014,560
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含まれなかった潜在株式の概要	—	2022年3月30日開催の株主総会決議による第1回新株予約権 新株予約権の数 1,432個 (普通株式 143,200株)  2022年3月14日開催の取締役会決議による第2回新株予約権 新株予約権の数 1,568個 (普通株式 156,800株)